

第六十二回
帝國議會
貴族院

手形法案特別委員會議事速記録第一號

付託議案
手形法案

委員氏名

委員長 侯爵佐佐木行忠君
副委員長 木場 貞長君

伯爵橋本 實斐君
伯爵秋月 種英君

水上長次郎君
山川 端夫君

男爵渡邊 修二君
各務 鎌吉君
澤田 喜彦君

昭和七年六月六日(月曜日)午前十時九分
開會

○副委員長(木場貞長君) 委員長が缺席デ
アリマスカラ、私ガ代ッテ此席ヲ汚シマン
テ只今ヨリ開會イタシマス、ドウゾ説明ヲ
願ヒマス

○國務大臣(小山松吉君) 手形法案ニ付キ
マシテ、提出イタシマシタ理由ノ大體ニ付
キマシテハ、本會議ニ於テ既ニ申上ゲマン
タノデアリマスガ、尙ホ之ヲ敷衍シテ御説
明ヲ致シタイト思ヒマス、手形ノ流通イタ
シテ居リマスル國ニ於ケル手形法規ノ差異

ヨリ生ズル不便ヲ除キマシテ、國際通商關
係ヲ一層確實敏速ナラシメヤウトスルガ爲
ニ、是等ノ法規ヲ國際的ニ統一シヤウトス
ル企テハ、近世歐羅巴ニ於キマシテ、盛ン
ニナッテ參ッタノデアリマス、明治四十五年

ノ和蘭海牙ニ於ケル手形法規統一萬國會議
ニ於キマシテハ、爲替手形、約束手形ノ統
一規則及其施行ヲ約スル條約ガ成立シタノ
デアリマスケレドモ、世界大戰ノ爲ニ、
其事業ハ中絶イタシタノデアリマシタ、併
シ大戰後ハ國際聯盟ニ於テ手形法制ノ統一
問題ヲ取扱フコトニナリマシテ、著々其準
備ヲ進メマシテ、昭和五年五月ヨリ六月ニ

亘リマシテ、「ジュネーヴ」ニ手形及小切手
ニ關スル法律統一ノ爲ノ國際會議ガ開カレ
タノデアリマス、我國ヲ初メ、英國、獨逸
佛蘭西、伊太利等三十餘箇國ガ之ニ參加イ
タシマシテ、小切手ニ關スル部分ノ審議ハ
延期トナリマシタケレドモ、手形ニ關シマ
シテハ、其統一法ヲ制定スル條約及其附屬
書竝ニ手形ニ關シテ、法律ノ或抵觸ヲ解決
スル條約竝ニ手形ニ付テノ印紙法ニ關スル
條約ヲ作成イタシタノデアリマス、此中統
一法ヲ制定スル條約ニハ、各締約國ガ、條

約附屬書ノ手形統一法ヲ自國ノ言葉ニ依リ
マシテ、各自ノ領域内ニ施行スルコトヲ約
スト云フコトニナッテ居リマスカラ、締約國
タルガ爲ニハ、自國語ニ依ル手形統一法ヲ
國內法トシテ有スル必要ガアルノデアリマ
ス、而モ此統一法ハ前ニ述ベマシタ海牙統
一規則ヲ大體踏襲イタシマシテ、多少ノ修
正ヲ加ヘテ成立シタモノデアリマシテ、多
年各國ノ學者或ハ實際家ノ間ニ於テモ、研
究論議セラレテ來タ所デアルト申シテモ宜
シイノデアリマシテ、之ヲ我方現行商法手
形篇ニ比ベテ見マスト、實際上理論上優レ
ク點ガ少クナイノデアリマス、現ニ政府ガ
商法中時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、改廢制定
ヲ要スベキ點ハドウ云フ部分デアアルカト云
フコトヲ、諮問中デアリマス法制審議會ニ
於キマシテモ、同法中ノ爲替手形及約束手
形ニ關スル規定ハ、右ノ手形統一法ノ如ク
改正スルヲ相當ト認ムト云フ決議ガナサレ
タノデアリマス、ソコデ政府ハ司法省内ニ
委員會ヲ設ケマシテ、昨年六月以來慎重ニ
調査審議ヲ重ネマシタ結果、手形法案ノ脱
稿ヲ見タノデアリマスガ、是ハ商法第四編中
ノ爲替手形及約束手形ノ部分ニ代ルモノデ

アリマシテ、之ヲ商法ノ一部改正ト致シマ
セズシテ、別ノ法律ノ形ト致シマシタノ
ハ、立法上竝ニ實際上ノ便宜ニ出デタモノ
ニ外ナラナイノデアリマス、本法案ハ第一
編爲替手形、第二編約束手形及附則ノ三部
分ヨリ成リ立テ居リマシテ、第一編第二編ハ
右統一法ノ翻譯部分デアリマシテ、附則ノ方
ハ手形法ヲ施行スルニ必要ナル規定ノ外ニ

國際手形私法ノ規則ヲ包含シテ居リマスノデ
アリマスガ、此國際手形私法ハ前ニ申シマ
シタ手形ニ關シテ、法律ノ或抵觸ヲ解決ス
ル條約ニ基クモノデアリマス、本法案第一
編第二編ニ於テ我方現行商法ノ手形編ヨリ
優レテ居リマスル點ノ主要ナルモノヲ擧ゲ
テ見マスト、爲替手形ニ於テ此前者ニ對ス
ル遡求ニ付キマシテ、引受ノ拒絶及之ニ準
ズベキ場合ニ、滿期前償還主義ヲ採ッタク
トデアリマス、又之ニ應ジテ引受ニ付テ、
即時引受ノ主義ヲ採ラズシテ、所謂引受ノ考
慮期間ヲ認メタコトデアリマス、一覽拂及一
覽後定期拂ノ手形ニ利息文句ヲ許シタコト
デアリマス、質入裏書ヲ認メタコトデアリ
マス、手形交換所ニ於ケル手形ノ呈示ニ支
拂呈示タルノ效力ヲ認メタコトデアリマ

約附屬書ノ手形統一法ヲ自國ノ言葉ニ依リ
マシテ、各自ノ領域内ニ施行スルコトヲ約
スト云フコトニナッテ居リマスカラ、締約國
タルガ爲ニハ、自國語ニ依ル手形統一法ヲ
國內法トシテ有スル必要ガアルノデアリマ
ス、而モ此統一法ハ前ニ述ベマシタ海牙統
一規則ヲ大體踏襲イタシマシテ、多少ノ修
正ヲ加ヘテ成立シタモノデアリマシテ、多
年各國ノ學者或ハ實際家ノ間ニ於テモ、研
究論議セラレテ來タ所デアルト申シテモ宜
シイノデアリマシテ、之ヲ我方現行商法手
形篇ニ比ベテ見マスト、實際上理論上優レ
ク點ガ少クナイノデアリマス、現ニ政府ガ
商法中時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、改廢制定
ヲ要スベキ點ハドウ云フ部分デアアルカト云
フコトヲ、諮問中デアリマス法制審議會ニ
於キマシテモ、同法中ノ爲替手形及約束手
形ニ關スル規定ハ、右ノ手形統一法ノ如ク
改正スルヲ相當ト認ムト云フ決議ガナサレ
タノデアリマス、ソコデ政府ハ司法省内ニ
委員會ヲ設ケマシテ、昨年六月以來慎重ニ
調査審議ヲ重ネマシタ結果、手形法案ノ脱
稿ヲ見タノデアリマスガ、是ハ商法第四編中
ノ爲替手形及約束手形ノ部分ニ代ルモノデ

アリマシテ、之ヲ商法ノ一部改正ト致シマ
セズシテ、別ノ法律ノ形ト致シマシタノ
ハ、立法上竝ニ實際上ノ便宜ニ出デタモノ
ニ外ナラナイノデアリマス、本法案ハ第一
編爲替手形、第二編約束手形及附則ノ三部
分ヨリ成リ立テ居リマシテ、第一編第二編ハ
右統一法ノ翻譯部分デアリマシテ、附則ノ方
ハ手形法ヲ施行スルニ必要ナル規定ノ外ニ
國際手形私法ノ規則ヲ包含シテ居リマスノデ
アリマスガ、此國際手形私法ハ前ニ申シマ
シタ手形ニ關シテ、法律ノ或抵觸ヲ解決ス
ル條約ニ基クモノデアリマス、本法案第一
編第二編ニ於テ我方現行商法ノ手形編ヨリ
優レテ居リマスル點ノ主要ナルモノヲ擧ゲ
テ見マスト、爲替手形ニ於テ此前者ニ對ス
ル遡求ニ付キマシテ、引受ノ拒絶及之ニ準
ズベキ場合ニ、滿期前償還主義ヲ採ッタク
トデアリマス、又之ニ應ジテ引受ニ付テ、
即時引受ノ主義ヲ採ラズシテ、所謂引受ノ考
慮期間ヲ認メタコトデアリマス、一覽拂及一
覽後定期拂ノ手形ニ利息文句ヲ許シタコト
デアリマス、質入裏書ヲ認メタコトデアリ
マス、手形交換所ニ於ケル手形ノ呈示ニ支
拂呈示タルノ效力ヲ認メタコトデアリマ

ス、不可抗力ノ場合ニ遡求權保全行爲ノ期間ノ伸長ヲ認メタコトデアリマス、是等ノ事柄ガ只今申シマシタ先ヅ主要ナル點デアリマス、其他詳細ニ付テハ政府委員ヨリ御質問ニ應ジテ御説明申上ゲル筈デアリマス、

リマスカ、其點ヲ先ヅ伺ヒタイト思ヒマス、政府委員カラ……

本ト直接關係アル、英、米、露、支那或ハ各國ガドウ云フ態度ヲ執リマスカ、植民地ニ適用シナイト云フコトニナリマスト、例

ウデアリマス、現ニ之ニ「オブザーパー」ヲ出シテ居リマシテ、色々條約ニ關シテ意見ヲ出シテ居ルヤウナ次第デアリマスカ、サウ云ウ譯デ調印ハ出來ナイ關係ニアルノデアリマス、米國モ亦各種手形ノ法律ガ違

尙ホ只今申シマシタ「ジュネーヴ」ノ各條約ニハ、各國ガ此批准ヲナシ得ベキ期限ヲ本年ノ八月三十一日限リト定メテアリマス、且ツ條約ノ効力ガ發生イタシマスル爲ニハ國際聯盟理事會ニ常任代表者ヲ出シテ居リ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

一部分トノ取引關係ニ於テハ此コトガ適用サレルガ一番日本ノ主要ナル商賣ヲ爲ス所ニ何等適用ガナイト言フコトニナツテ、餘程實益ガ少クナルト云フ嫌ガアルヤウニ思ハレマス、ソレハドウ云フ御考デゴザイマスカ、ソレヲチヨット伺ヒマス

ナガラ此手形統一條約ハ大體ニ於テ佛蘭西トカ獨逸トカ云フ方面ノ違、テ居ル所ヲ統一イタクシマシテ、英米法ノ思想モ餘程取入レテアルノデアリマスカラ、假令英、米ガ調印ヲ致シマセヌデモ、此法律ト云フモノハ英米法ニ相當近クナツテ居リマス、而シテ此條約ガ若シ完全ニ成立スルコトニナリマ

居リマスカラ、聯盟理事會ニ常任代表者ヲ出シテ居リマスル我國ト致シマシテハ、曩ノ海牙手形法規統一會議以來多クノ年月ヲ費シテ漸ク其成果ヲ見タ所ノ手形法統一事業ニ付キマシテ、國際的ニ協力シテ行ク上ニモ責任アル立場ニアリマスノデ右批准期間ノ關係カラ致シマシテ、今議會ノ御協賛ヲ願フ爲ニ本法案ヲ提出シタ次第デアリマス

○山川端夫君 此統一法ノ條約案ニ依リマスト、先ヅ之ニ署名シテ居ル國ガスカリ掲ゲテアリマスカ、ソレニ加ハテ居ナイ國ハ主ナモノハ英吉利、亞米利加、露西亞、支那、日本ト直接關係ノ深イ國ハ統一法ノ條約ニハ加ハテ居ナイコトニナツテ居ルヤウニ見受ケラレマス、唯英吉利ガ其中ノ印紙法ニ關スル條約案ニ依ル留保ヲ加ヘテ居ルダケデ、ソレカラ尙ホ其條約案ノ之ヲ見マスト、各國ハ自分ノ植民地ニ對シテ此條約ヲ適用シナイコトヲ定メ得ルト云フコト

ニナツテ居ルヤウデアリマス、斯ウ云フ國際的ニ言フテ、手形法ニ對シテ一定シタ規定ガ出來ルコトハ、國際通商ノ發展ヲ見マスノニ極メテ必要ナコトデ、有意義ナコトデアリマス、併シ實際之ヲ見マスト云フト、日

ヤウナ形ニナルノデアリマス、而シテ今申シタヤウニ英米法ノ法系モ相當入、テ居ルノデアリマスカラ、近イ將來ニ於テ次第ニ總テノ手形ニ於テ統一スルト云フコトガ實現サレル希望ガアリ、又此條約ヲ締結スル

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

○山川端夫君 大體ノコトニ付テ一二御質問申上ゲタイト思フ、此手形法ハ適用……施行セラレル範圍ハドウナリマスカ、帝國内ト云フコトニ限ルノデアリマスカ、或ハ日本ノ新領土ニモ總テ及ブト云フコトニナ

○政府委員(長島毅君) ソレハ結局臺灣トカ朝鮮等ハソレハ或ハ勅令ヲ以テ、或ハ制令等ヲ以テ之ヲ施行スルコトニシナケレバナラナイコトニナツテ居リマス、ソレデソレハドウ云フコトニナリマスカ、何レ拓務省ノ考モアルト思ヒマスガ、商法モ行テ居リマスカラ、自然アチラノ方モ行クコトニナルト思ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ御尤オ御尋デアリマシテ、其點ハ此英米ガ入ラナケレバ、一體統一法條約ニ入ルノハ詰ラナイコトデヤナイカト云フ説ガ多少民間ニモアツタヤウデアリマス、英吉利ハ御承知ノ通りニ總テ、殊ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセヌガ、先ヅ慣習デ發達ラシタモノダサウデアリマシテ、其法規ト云フモノガ、餘リ完全シテ居ラナイサウデアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點デモ違ヒマスト、習慣デ出來テ居ル國デ成文法デ出來テ居リマセヌモノデスカラ、僅カノ點デモ違、テ居リマスト調印ヲスルノハ困難ナヤ

コトハ其希望ニ一歩ヲ踏入レルコトデアリ
マスカラ、非常ニ望マシイコトデアルト思
フノデアリマス、殊ニ此法案ハ現行商法ニ
比シマシテ、優レテ居ル所ガ相當多クアリ
マスノデアリマスカラ、旁、以テ手形法ト
云フモノヲ國內法トシテ制定スルコトガ望
マシイコトデアリハナイカト思ハレルノデアリ
マス

○山川端夫君 只今ノ御説明ハ御尤ト考ヘ
ルノデアリマスガ、唯實際問題トシマシテ、
理窟カラ言フト、統一法條約ト云フモノガ
出來テ、英米ト對立シテ、而モ是ハ大陸バ
カリデナクテ英米ノ分子ヲ多大ニ加ヘタモ
ノト云フノデアリマスカラ、大分意義ガア
ル、私ハ之ニ絶對ニ反對スルト云フ考ハ持ッ

テ居リマセヌケレドモ、實際問題トシマス
ト云フト、今申シマシタヤウニ、日本ト直
接關係ノアル、若クハ最モ關係ノ深イ所ガ、
總テ此法律ト違フテ來ルト云フヤウニナッ
テ、日本ノ方ノ便宜カラ言フト、餘リサウ
大シタコトハ無イカト云フ感ジガスル、ソ
レカラ尙ホ英米及ビ英米ノ植民地ガ總テ加
ハラヌコトニナリマスガ、ソレ以外ノ植民
地デ、日本ニ關係ノアル所ノ國デ、例ヘバ
和蘭トカ佛蘭西トカ云フヤウナ國デ、植民
地ヲ除外スルト云フヤウナ意思ヲ表明シタ

國ガアリマスカドウカ、ソレヲチョット伺ヒ
タイ

○政府委員(長島毅君) 先ニ申上ゲマシタ
ヤウニ、英米ガ例ヘバ入りマセヌデモ、此
條約ノ内容ニナッテ居リマス手形法ハ、良イ
點ガ澤山アルト思ヒマスカラ、其點ハ、離
レテモ、矢張り此際手形法ヲ改正スルガ有利
デナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ
其外ノ國ガ植民地ニ付テ留保ヲスルカドウ
カト云フコトハ、マダ此條約ヲ批准シテ居
ル國ガ餘リ澤山アリマセヌノデ、其點ハ
チョット分リマセヌノデアリマス、唯日本ニ
關スル範圍ニ於テハ、植民地ニ付テ特別ニ
留保ヲ致サナイ大體豫定デアリマス

○山川端夫君 モウ一ツノ點ハ此條約ニ依
リマス、各國ガ共ニ共通ニ遵守スベキ事
項ト、ソレカラ各國ガ或ル程度マデ自由ニ自
分ノ國ノ都合ニ依ッテ立法シ得ベキ事項ト、
斯ウニツニ分レテ居ルヤウデアリマス、此
統一法ノ附屬書ノ第二ニ、各國ガ自由ニ立
法シ得ル餘地ヲ置イタコトガ載ッテ居ルヤ
ウデアリマス、其中ノ大部分ハ手續問題等
ニ關係スルコトデ、何モ差支ナイノデアリ
マスガ、中ニハ實質的ナ問題モ大分載ッテ居
ル、日本ノ關係ハ此前司法大臣ガ議會ニ於
テ御説明ニナリマシタガ、此説明ニモ書イ

テアリマスガ、一點バカリ第二附屬書ノ九
條ニ依ッテ、法案ニ變更ヲ加ヘラレタト云フ
コトガアリマスガ、其他ノ點ニ付テハ日本
デハ別ニ特別ノ規定ヲ御設ケニナル必要ハ
ナイト云フヤウナ御考デアッタト思ハレル
ノデアリマス、チョット私ノ氣附イタ一ツノ
點ヲ言ヒマス、本法ノ第四十一條第三項
ニ依リマス、外國通貨現貨支拂文句ヲ記
載シタル場合ニハ外國ノ通貨デ支拂フベキ
コトニナッテ居ルヤウデアリマス、此四十一
條ハ附屬書第二ニ依リマシテモ、特別ノ規定
ヲ設ケ得ベキ部分ニ這入ッテ居ル規定デア
リマス、斯ウ云フヤウニ外國ノ通貨デ必ズ
ヤッテ行クト云フコトハ、今ノ色々ナ事情カ
ラ對外的關係カラ見マス、所々ノ點ニ可
ナリ不便ナコトガ起ッテ來ヤシナイカト云
フヤウナ感ジガ致シマス、サウ云フ點ハ別
ニ差支ナイト云フヤウナ御考デアリマスガ、
其點ヲチョット御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(長島毅君) 此點ハ結局附屬書
ノ二ノ第七條ニ關スルコトト存ジマスガ、
ソレハ大體只今ノ所デハ留保ヲ致シマス積
リデ居リスカラ、必要ノアル時ニハ今ノ御
質問ノ點ニ付テ留保ガ出來ルヤウニナル考
デアリマス、併ナガラ現在ト致シマシテハ、
詰リ通常時ニ於テハ是ハ留保モ出來マセヌ

シ、又サウ云フ留保ヲスル必要ガナイノデ
ハナイカト思フノデアリマス、附屬書ノ二
ノ第七條ノ留保ハ條約ニ依ッテ致ス積リデ
居リマス

○山川端夫君 サウシマス、法律ニハ第
四十一條第三項デ別ニ留保ニナル御規定ニ
ナッテ居リマスカラ、條約ニ對シテ此附屬書
第二ノ第七條ハ留保ナサル、サウスルト其
留保ヲ實際適用ナサル場合ニハ、又別ニ立
法手續ヲ要スル、斯ウ云フコトニナルノデ
アリマスガ

○政府委員(長島毅君) 結局サウ云フ積リ
デ居リマス

○山川端夫君 附屬書第二ニ色々ナ留保ヲ
爲シ得ベキ場合ガ澤山載ッテ居リマスガ、今
ノ御説明ニ依リマシテ、第七條ニ對シテハ
留保スルト云フ御趣意ノヤウニ承リマシタ、
ソレ以外ノ條項ニ依ッテ留保ヲ御加ヘニナ
ル、御批准ノ場合ニ留保ヲ爲サルト云フコ
トヲ豫想サレテ居ル條項ガアレバ御示シヲ
願ヒタイ

○政府委員(長島毅君) 大體條約ニ於テ留
保ヲ致シマスガ、若クハ留保ヲシナイデモ
留保ヲシタト同ジヤウニナル條項ハ、附屬
書ノ第五條ノ二項、ソレカラ第六條、第七
條、第九條、ソレカラ第十條、第十三條、第

第十五條、第十六條、第十七條、第十八條、第二十條、ソレカラ第二十二條、第二十三條等デアリマス、大體ソレデアリマス

○山川端夫君 序ニ此抵觸法ト云ヒマスカ、此條約ノ方ニ矢張り留保ノ規定ガ載テ居ルヤウデアリマスカ、之ニ對シテ留保ナサル御考ガアリマスカ、御伺ヒ致シマス

○政府委員(長島毅君) 第二條ニ付テハ特ニ規定ヲ置キマシタノデアリマス、ソレハ丁度府屬書ノ八十八條ニ當リマシテ、二項ダケヲ詰リ留保シタノト云フヤウナコトニナツテ居リマス

○山川端夫君 此條約ノ第二附屬書ノ第二十一條ニ依リマスト非常ニ大キナ留保ヲシテ居ルヤウデアリマス、約束手形、爲替手形ノミダケニ關係スル部分ダケヲ採用シテ宜シイト云フヤウナ意味ノヤウニ解セラレマスカ、是ハ何カ特別ノ……斯ウ云フ特別ノ必要ガアツテ之ヲ認メタノカ、折角出來タモノガ半分詰リ除外サレテシマフ、餘程大キナ留保ノヤウニ考ヘラレルノデアリマスカ

○政府委員(長島毅君) 是ハ確カ今チヨト記憶ヲ致シテ居リマセマスカ、ドコカ或ル國デ、自分ノ方デハ此事ハ約束手形ダケデハ困ルト云フヤウナコトヲ言フタ所ガアリ

マシテ、其國ヲ此締約國ノ中ニ加ヘル爲ニ斯ウ云フ規定ガ出來タト云フ理由ニ承知シテ居リマス、從テ殆ド此規定サウ云フ留保ヲスル時ニハ非常ニ少イコトカト考ヘマ

ス、「ラトビヤ」デシタカ、何デシタカ、舊露西亞ノ一部カ何カ、非常ナ小サナ國デ之ヲシテ吳レナケレバ困ルト云フヤウナコトデ、ソレヲ容レル爲ニ致シタデアリマス、デア

スリマカラ其國ヲ入レナイ積リナラバ、コシナ大袈裟ナ留保ヲスル必要ハナカッタカモ知レナイノデゴザイマス

○水上長次郎君 本案ノ附則第八十條ニ「商法第四編第一章乃至第三章及商法施行法第二百二十四條乃至二百二十六條ハ之ヲ削除ス」トアリマスカ、本案ガ實施セラレマスルト同時ニ今申上ゲマシタ商法第四編ト云フモノガ削除セラレルデアリマス、デ其商法第四編ノ第一章ト云フモノハ、即チ四編ハ手形デ、第一章ハ總則ニナツテ居ルノデス、ソレデ第二章ハ爲替手形、第三章ハ約束手形、此外ニ四編ノ中ニハ小切手ガアルノデアリマス、詰リ四章ニナツテ居ルノデアリマス、所ガ此商法第四編第一章以下ヲ削除スト云フコトニナル、總則ト云フモノガ全く無クナルノデアリマス、小切手ニ關スル規則ハ殘存シテ居テ、サウシテソレニモ適用セナ

ケレバナナイ總則ト云フモノガ無クナツテ仕舞ウコトニナルノデアリマス、ソレハ別ニ小切手ニ對スル總則ト云フモノハ御設ケニナルノデアリマスカ、又ハ此商法第四編第一章ノ總則ハ小切手ニ適用セラルルコトガナイト云フヤウナ御考カラ、特ニサウ小切手ニ對スル總則ト云フモノハ置カナカッタノデアリマスカ、チヨット其處ガ私ハ分

リ兼ネマスカ、尤モ此說明……手形法說明書其他ノ參考書ヲ御廻シニナリマシタノデ、ソレニ十分ノ說明ガアルカモ知レマセ

スケレドモ、今差當リマシテチヨット疑義ヲ生ジマシタカラ御伺ヲ致シマス

○政府委員(長島毅君) 其點ハ此八十條ノ但書ニ規定シテアリマシテ、商法其他ノ法令ノ適用上、之ニ依ル時ニ、尙ホ其效力ヲ有ストアリマスカラ、其一章乃至三章ヲ外

ノ法律引用イタシテ居ル場合ニハ、其限度ニ於テハ生キテ居ルト云フコトニ解釋シテ居リマス

○水上長次郎君 サウスルト云フト此但書以下デ以テ、矢張り總則ハ存シテ居ルト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(長島毅君) 左様デゴザイマス

○水上長次郎君 ソレカラモウ一言伺ヒマ

スガ、現行ノ手形法ニハ總則ト云フモノヲ

特ニ第一章トシテ設ケラレテ居ルノデアリマス、デ先程大臣ヨリ御説明ニナリマシタ通り、此手形法案ハ特別ノ法律ト致シタノデアツテ、現在法ニ修正ヲ加ヘタノデナイト云フコトデアリマス、サウスレバ此草案ニ於テ爲替手形並ニ約束手形ニ共通スル總則ト申シマセウカ、兎ニ角兩方ノ手形ニ共通スル所ノ規則ヲバ共通法總則トシテカ、若クハ共通法トシテカ御設ケニナッタナラバ、現在ノ手形法ノ編纂法ト同ジコトデ大變見宜イダラウト思フ、併シ此草案ノ附則中ニ總則ト思ハレルヤウナ簡條ガアリマ

スルカラシテ、寧ロ附則ト云フ方ニ總則ヲ加ヘタト云フヤウナ意味合カラシテ、特ニ通則ト云フ編ヲ御設ケニナツタモノデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(長島毅君) ソレハ此手形統一法條約ニ於キマシテ、結局各締約國ハ其手形統一法ノ、附屬書ニアル通りノ法律ヲ作ラナケレバナラス、若シ佛語、英語デアレバ其原語ノ、原文ノ儘デ法律ニシロ、サウデナクバ翻譯デ之ヲ國內法ニシナケレバナラスト云フ義務ヲ負テ居リマスカラ、勝手ニ其總則トカ何トカ云フモノハ作レナイコトニナツテ居ルノデアリマス、全然詰リ殆ド、手形統一法附屬書ノ翻譯ヲ掲ゲルト云

フコトデアリマシテ、内容ハ一字一句タリトモ取換ヘラレナイコトニナツテ居ルノデアリマス、デソコデ今申シマシタ共總則的ノ規定ノ如キハ、各所ニ此統一規則デハ散在シテ居リマシテ、例ヘバ此七條ノ如キハ振出シノ所ニ手形債務ノ獨立ノ原則ノ規定ガアルヤウナ次第デアリマス、或ハ代理權超越ノ問題デアルトカ云フヤウナコトハ八條トカ、詰リ總則的規定ガ各章ノ主ナル所ニ規定サレテ居リマシテ、稍、此商法トハ、規定ノ方法ハ違テ居リマスガ、併シ決シテ誤解ヲ生ズルヤウナコトニハナツテ居リマセヌノデアリマス

○副委員長(木場貞長君) 御質問ハゴザイマセヌカ……参考書類モ今日御廻シニナツタヤウナ次第デゴザイマスカラ、多少御研究ニナル必要モアラウト思ヒマスカラ、質問ハ今日ハ此程度ニ措キマシテ、更ニ日ヲ定メテ續行スルコトニシタラバ如何デゴザイマスカ……會期モ短イコトデゴザイマスカラ急グコトハ諒トスベキデゴザイマシマスガ、サラバト云ツテマルデ研究モセヌデ判斷スルコトハ困難デスカラ一日位ハ置イテ、明後日位デモ又續行イタシタラ如何デゴザイマスカ、是ハ御協議イタシマスガ……御意見ガナケレバ明後日此時刻ニ開クコトニ致

シマス、但シ本會ガアレバ散會後若クハ午後一時カラ……本會ノ都合ニ依テ當然時刻ガナケレバ午後一時カラ、若クハ散會後、斯ウ云フコトニ致シタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副委員長(木場貞長君) サウ云フコトニ致シマス、ソレデハ是デ散會イタシマス

午前十時五十一分散會

出席者左ノ如シ

副委員長 木場 貞長君

委員

伯爵橋本 實斐君

子爵秋月 種英君

水上長次郎君

山川 端夫君

男爵渡邊 修二君

各務 鎌吉君

澤田 喜彦君

國務大臣

司法大臣 小山 松吉君

政府委員

外務省條約局長 松田 道一君

司法政務次官 八並 武治君

司法省民事局長 長島 毅君

昭和七年六月六日印刷

昭和七年六月七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局